

# 要望書

- ・道路整備予算の確保について
- ・一般国道13号福島西道路の事業促進について



第三次医療機関 福島県立医科大学附属病院

平成26年8月22日

福島西部環状道路建設促進期成同盟会

会長 福島商工会議所会頭 渡邊博美

## 道路整備予算の確保について

道路は、市民生活や社会経済活動において根幹を成す社会資本であり、地域の自立的発展や、広域的な連携・協力による特色のある地域づくりを図るために欠くことのできないものであります。

また、東日本大震災からの復興と急速に進んだ少子高齢社会の中で、豊かな地域社会を形成し、且つ、豪雪や地震など自然災害から住民の生命・財産を守り、将来に渡り安全で安心した生活を確保するためには、高規格幹線道路から市町村道に至る体系的な道路網の整備を、長期的な視点により、緊急性・即時性を確保しつつ、着実に推進することが必要不可欠であります。

併せて、高度経済成長期に作られた多くの道路ストックの維持管理をはじめ、都市部の渋滞解消や高度緊急医療搬送への対応など問題が山積する中において、道路関係予算の確保は地方にとって重要な課題となっております。

このような中、東日本大震災からの復旧・復興に莫大な予算が必要とされるなど、道路整備事業にとって厳しい状況が続いておりますが、地方における道路の実情と重要性を再度ご認識いただき、復興予算のみならず、一般国道13号福島西道路南伸事業等につきましても、着実な整備促進を図るため、次の事項について要望いたします。

### 記

- 1、地域にとって真に必要な道路整備を着実に推進するため、また、喫緊の課題となっている老朽化対策のため、防災・安全を目的とする道路予算も含め継続的に十分確保し、現在事業中の道路を速やかに完成させるとともに、主要幹線道路などの道路整備が着実に行えるよう、優先的に財源措置をすること。
- 1、道路の事業評価にあたっては、高次医療施設へのアクセス時間短縮、物流の効率化による産業の振興・企業誘致などのほか防災・安全対策のためにも、地域の実情と多面的な効果を十分考慮したうえで総合的に判断すること。
- 1、社会資本整備総合交付金の弾力的運用並びに必要な予算の継続的な確保と配分について、地域の実情を十分考慮すること。

## 一般国道13号福島西道路の事業促進について

一般国道13号福島西道路事業につきましては、日頃より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本路線は、Ⅰ期区間が昭和57年度に事業採択となって以降、順次4車線への整備が進められ、現在7.7kmが4車線で供用されております。

また、本路線のⅡ期区間南伸事業が、平成24年度事業採択となって以降、中心杭設置式、測量調査及び道路設計の実施等、そして、本年度には、用地買収着手に向けた設計・用地調査説明会が開催され、関係者の承認を得て用地調査実施の運びとなり、着実に事業の推進がなされており、ご尽力いただきました皆様には重ねて御礼を申し上げます。

本路線は、沿線市街地の発展にみられますように、その交通需要は非常に高く、通過交通排除による中心市街地の渋滞緩和に対しても有効な環状道路として重要な役割を担っております。

また、経済や物流に大きく寄与する道路として、商工業関係者の関心も極めて高く、「福島」のさらなる発展に欠くことのできない道路であります。

加えて、原発事故に伴う放射線医療をはじめとする最先端医療の拠点として整備が進められている、「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター」へのアクセスの向上は、高次救急医療サービス提供観点からも本路線は重要路線であり、本市のみならず福島県全体の道路整備の喫緊かつ重要課題となっております。

しかしながら、本路線が環状道路としての本来の機能を十分に発揮するためには、南伸と北伸による国道4号との接続が必要不可欠であり、特に南伸は、東日本大震災により通行止となった国道4号の経験を踏まえ、その代替路線としての重要な機能を備えた道路であると認識しております。

つきましては、交通渋滞を解消する環状道路として「福島」のまちづくりの軸となり、また、福島県全体の救急や安全安心を支える基幹路線としての機能をより一層発揮し、活力ある地域づくりを実現するためにも、福島西道路の事業中である南伸の着実かつ早急な供用、並びに、北伸の新規事業化に向けて、特段のご配慮を賜りますよう要望申し上げます。

財務省主計局 菅野 裕人氏に要望



国土交通大臣 太田昭宏氏（事務局）  
に要望



---

国土交通審議官 佐々木基 氏に要望



---

国土交通大臣官房長 西脇隆俊氏へ要望



---

国土交通省道路局長 深澤淳志氏へ要望



---

国土交通技官 徳山日出男氏へ要望

※徳山技官は、東北整備局長を歴任され、東北六魂祭福島開催、西道路延伸に尽力された方



以上